

冬季企画展

大湊 船と人

歴史を刻む旧市川造船所資料

日本丸模型

講演会

「旧市川造船所
資料にみる本
町の漁船の発
達」

詳しくは裏面へ

伝日本丸船首龍
(神宮徴古館旧蔵)
戦火により焼失

旧市川造船所跡

【会場】
いせ市民活動センター北館
(いせシティプラザ)

1階ホール アクセス情報は裏面へ

9時～17時

令和6年

2024.1.16 (火)

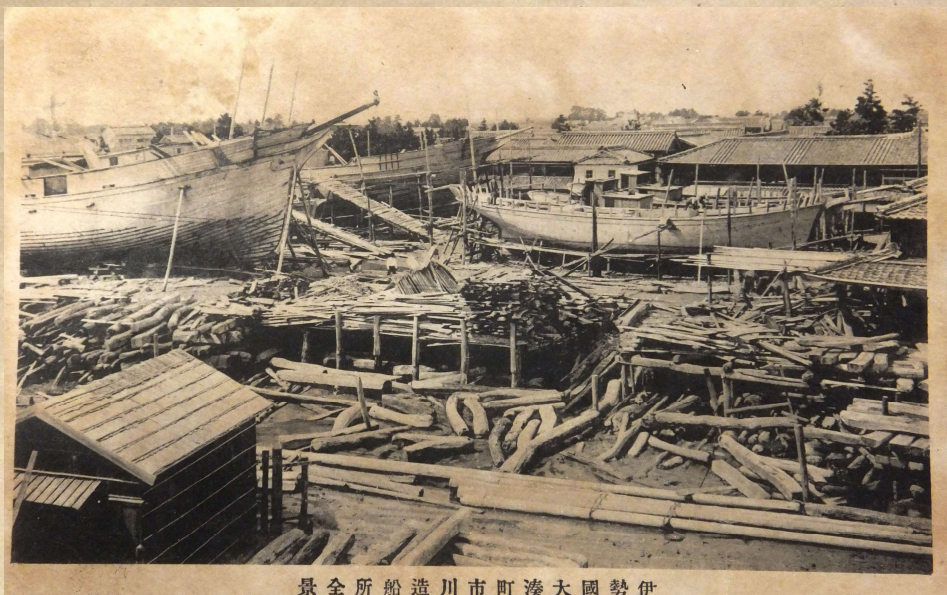
～1.29 (月)

【HP】



ISE City
伊勢市

主催：伊勢市 共催：鳥羽市立海の博物館【問い合わせ先】☎516-8601 三重県伊勢市岩瀬1丁目7番29号 TEL：0596-22-7884



伊勢大湊町市川造船所全景

古来、造船の町として、発達した大湊。宮川、勢田川、五十鈴川の河口に形成された三角州上にある良港で、伊勢湾口に位置する海上交通の要衝でもありました。

大湊に船を求めた人は数えきれません。織田信長、九鬼嘉隆、御木本幸吉などの著名人はなぜ大湊で船を建造したのか。本展では、旧市川造船所資料を中心に船舶模型や文書資料を展示し、大湊と造船にまつわる人物を紹介するとともに造船業の発展の過程、造船技術の変遷について紹介します。

【📍アクセス情報📍】

住所：伊勢市岩渕1丁目2-2

- ・伊勢市駅から徒歩5分
- ・宇治山田駅から徒歩10分
- ・伊勢西インターから車で15分

【📍展示構成📍】

- (1) 織田信長・豊臣秀吉の朱印状と大湊
- (2) 九鬼嘉隆と日本丸
- (3) 御得意御名前帳に見える顧客
- (4) 松坂丸の船主たち
- (5) 亀田末通と造船業の洋式化と市川源吉
- (6) 市川竹次郎と徒弟学校
- (7) 報効議会の第二報効丸と白瀬南極探検隊の開南丸
- (8) 松本喜太郎と戦艦大和
- (9) 小津安二郎と宇治山田中学校短艇部
- (10) 御木本幸吉の真珠養殖操業船
- (11) 大湊船大工と宇治橋
- (12) 山口日記のタブレット展示

【📍展示資料📍】

大湊古文書 織田信長朱印状(複写)など
 日本丸模型・日本丸模型の船舶設計図面など
 御得意御名前帳など
 松坂丸建造用ハーフモデル・ハガキ資料など
 市川源吉肖像画など
 徒弟学校関係資料・市川竹次郎日記など
 第二報効丸船舶設計図面・報効議会関係文書資料
 松本喜太郎氏の著書・戦艦大和の模型など
 宇治山田中学校短艇関係資料など
 真珠養殖操業船の船舶設計図面など
 宇治橋造営の大工道具
 山口吉蔵日記

【📍講演会📍】

◆旧市川造船所資料にみるカツオ一本釣り漁船の発達

【内容】：市川造船所で建造された日本初の動力付き漁船「富士丸」や三重県最初の動力付き漁船「南島丸」の存在は、日本の漁業・水産業に大きな影響を与えました。その中でも本講演では、「カツオ漁船」に焦点を当て、動力化による漁業への恩恵やその一連の流れについて紹介します。

【講師】：鳥羽市立海の博物館 館長 平賀 大蔵 氏

【開催日】：1月27日(土)

【時間】：13時30分～15時(受付時間：13時)

【会場】：いせ市民活動センター北館(いせシティプラザ)2階多目的ホール

【定員】：100名

【参加料】：無料

【申込み】：文化政策課(TEL/0596-22-7884)まで電話申込
 もしくは、右の二次元コードから専用フォームで申込



富士丸ハーフモデル

【📍鳥羽市立海の博物館×伊勢市 共同開催特別展📍】

◆カツオ一本釣り漁船にエンジンがついた！ はじまりは伊勢・市川造船所

【開催日】：12月9日(土)～4月7日(日)

【時間】：9時00分～16時30分(入館は閉館の30分前まで) ※3月1日(金)より17時閉館

【休館日】：12月26日(火)～12月30日(土)

【会場】：鳥羽市立海の博物館 「住所」〒517-0025 三重県鳥羽市浦村町大吉1731-68

【入館料】：個人/大人(18才以上) 800円 /学生(大学生以下) 400円
 団体(20～99名)/大人(〃) 720円 /学生(〃) 320円
 団体(100名以上)/大人(〃) 640円 /学生(〃) 280円

【主催】：鳥羽市立海の博物館(TEL/0599-32-6006)

【共催】：伊勢市



二十三号とよはた丸